バイオバンクとは？

バイオバンクとは、みなさまからご提供いただいた血液、組織、尿など（これらを試料と呼びます）を診療の情報（治療や検査の記録など）とあわせて保管・管理し、医学の研究に活用する仕組みのことです。

ご提供いただいた試料と診療の情報は、病気の予防・診断・治療にわたる多くの研究を支える貴重な資源となります。
そして、その研究の成果は、未来のより良い医療につながることが期待されます。

2015年4月、岡山大学病院は、岡山大学病院バイオバンク（岡大バイオバンク）を設立いたしました。

なぜバイオバンクが必要なの？

医学の進歩によって、以前は有効な治療法がなかった病気でも現在では適切な治療を行えば治る病気もあります。その一方で、まだ有効な治療法が見つかっていない病気があることも現実です。そのため、いろいろな研究が国内外で行われています。
これまでの研究の成果として、同じお薬を使った患者さんでもお薬の効果に違いがあること、副作用のでやすい人とでにくい人がいることなど、患者さんによって違いがあることがわかってきました。その結果、より効果的で副作用の少ない治療を選択できるようになってきています。

より良い医療を患者さんへ提供するためには、これからも多くの医学の研究が必要です。そして、医療に役立つ研究を行うためには、患者さんの試料、診療の情報などを集め、保管・管理し、活用できる仕組みが必要なのです。

岡大バイオバンクへのご協力については、あなたの意思によりご自由にお決めください。
ご協力いただけない場合や、途中でご協力を取り下げられる場合も、その後の診療において、不利益を受けることは一切ありません。

みなさまのご協力によって得られることが期待される医学の研究成果は、あなたから未来の人々への贈り物となります。

ご不明な点は岡大バイオバンクにお問い合わせください。

【お問い合わせ窓口】
岡山大学病院バイオバンク事務局
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
086-235-6029
biobank@okayama-u.ac.jp
※お電話でのお問い合わせは月～金曜日（土日祝は除く）9:00 ～ 17:00

岡大バイオバンクホームページ
https://biobank.ccsv.okayama-u.ac.jp

Clinical Study Core Hospital
OKADAI BIOBANK 岡大バイオバンク
OKAYAMA UNIVERSITY

[Ver.4.0-1]

岡山大学病院バイオバンクへのご協力のお願い

明日の医療のために
みなさまのご協力をお願い申し上げます

OKADAI BIOBANK
岡大バイオバンク

岡大バイオバンクへのご協力のお願い

岡大バイオバンクについてご理解いただき、ご協力いただいた場合の流れについてご説明します。

1

担当者からもご説明いたしますが、まずは説明文書をお読みください。疑問点は担当医師、またはリサーチコーディネーターへ遠慮なくご質問ください。

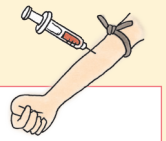
2

岡大バイオバンクにご協力いただける場合は、お渡しする書類（同意書）にご署名ください。

3

質問票にお答えください。
かかったことがある病気、喫煙歴などについての質問です。

4



血液・髄液・骨髄液を提供していただく場合

通常の診療のために必要な採取と同時に行い、岡大バイオバンクのための血液・髄液・骨髄液を増量させていただくことがあります。

組織を提供していただく場合

検査や診断、治療のために採取したものの一部を保存します。岡大バイオバンクのために組織が余分に採取されることはありません。

尿・唾液などを提供していただく場合

侵襲のない方法で採取できる尿・唾液などは検査や治療とは関係なく採取をお願いする場合があります。

★採取の際はあなたの体調に十分考慮いたしますが、体調が優れないなど採取が難しい場合には、病院スタッフにお伝えいただき、バイオバンクのための採取はお断りいただいて構いません。
遠慮なくお申し出ください。

5

ご提供いただいた試料および診療の情報（岡山大学病院で行われる治療や検査の記録、質問票の回答など）は、厳重に保管します。

6

その後は

倫理審査委員会で承認された研究などのために、
試料と診療の情報を提供します。

7

岡山大学を含め、国内外の研究機関（民間企業を含む）において、様々な医学の研究に活用されます。
例として、次のような医学の研究に活用されます。

★病気の原因の解明
★病気の予防法の開発
★病気の検査法・診断法・治療法の開発
★治療の効果や副作用のでかたの解明
★新しいお薬の開発
★病気・体質に関係する研究 など

これらの中には、全ての遺伝情報の解析（全ゲノム解析）や、採取した組織・細胞などからiPS細胞を作製することなどがあります。
また、ご提供いただいた試料・情報から得られたデータは、公的データベースで公開されることがあります。これにより、国内外の多くの利用者がデータを活用し、病気の診断や予防、治療に役立てられることが期待されます。
この際、あなたが特定されないための対策を行います。

みなさまのご協力が、未来の人々に行われる医療の発展に役立つことが期待されます。

岡大バイオバンクご協力に関するよくあるご質問

Q1 個人情報は守られますか？

将来、岡大バイオバンクから利用者に試料・情報を提供する際には、あなたを特定できる情報が病院の外に漏れないよう、また、利用者があなたを特定しないよう対策をします。

Q2 どんな人がデータを利用しますか？

医療機関、製薬企業等の民間企業や外国にある機関や企業に所属する利用者もデータを利用する可能性があります。

Q3 どの研究に自分の試料が使われたかを知る方法はありますか？

あなたの試料・情報がどのような研究に利用されたかは、ご要望があれば研究の秘匿性等に支障がない範囲でお知らせすることができます。詳細は岡大バイオバンク事務局にお問い合わせください。
また、岡大バイオバンクからの試料・情報の提供先および研究等の内容などは、岡大バイオバンクホームページの「実績と成果」で公開しています。

Q4 費用は？

バイオバンクへのご協力にあたり、費用はかかりません。
また、謝礼をお渡しすることもありません。

Q5 協力の同意を取り消すことはできますか？

同意はいつでも取り下げることができます。「同意撤回書」を当院の担当医師、または岡大バイオバンク事務局へご提出ください。

同意を取り下げられた場合は、保管されているものを破棄します。ただし、すでに研究のために使用されていて破棄できない場合もありますので、予めご了承ください。
また、同意を取り下げた時点より前に保管された試料・情報の利用をご許可いただいた場合には、引き続き保管いたします。